

4 燃え尽き型うつ病

30代 男性 中等症うつ病エピソード (F32.11)

初診時主訴； うつ気分・易疲労感・不眠・食欲低下・朝起きれない

生育・生活歴； 父は調理師で無口。中学3年の時父の失職を契機に、両親が不和になり離婚。コンピュータ専門学校を卒業後ITシステム開発会社に就職。独身。酒が大好きで、飲み始めると止まらない。

病前性格； 貴重面、生真面目、小心、熱中性

現病歴； 新たなプロジェクトのリーダーになり、上司として部下を指導するが、部下数名が使い物にならないため仕事が溜まり、納期に間に合わせるため終電まで残業する日が続いた。5月初めから疲れが取れなくなり、やる気もなくなり、朝も起きれなくなった。そして無断欠勤をし始め、死に場所を捜しに色んな所を徘徊し始めた。心配した会社の後輩に勧められて初診となった。

診断とその根拠。抑うつ気分、興味と喜びの喪失、易疲労感などのうつ病の典型的な三つの症状が顕著であり、さらに一般的症状が5つと身体性症候群が4つ以上認められたことから、身体性症候群を伴う中等症うつ病エピソード(F32.11)と診断した。

治療経過。まず塩酸ノリトリプチリンとスルピリドから治療開始したが十分な意欲の改善は得られなかった。次に塩酸セルトラリン 50mg/日を追加すると著明なうつの改善が認められ復帰した。数カ月は良かったが食欲不振と疲労感が悪化してきたしかし8月中頃から不眠と疲労感を覚えるようになったのでミルタザピオン 15mg/日を投与すると、うつ症状は消失し、意欲も生まれてきた。さらに10月から以前勤務していた馴染みの職場に異動になってからは、職場環境に上手く適用でき、仕事が楽しいと語っている。

考察（本症例で学んだこと）

ミルタザピンが最も意欲の回復に効果があった。

b) 過重な仕事を与えられても、“限界を超えている”と上司や同僚に訴えるのが苦手で、自分一人で解決しようとし、疲れ果てて消耗しきってうつ病に陥ってしまう燃え尽きうつ病型の性格傾向が顕著に認められた。また酒に吞まれ易く、飲み始めると酔いつぶれるまで飲んでしまう、衝動統制の弱さも無視できない問題と思われた。今後はカウンセリングを通して欲望のコントロールや自己破壊性の克服を指導して行きたい。（字数：1073 字）